

## 5-2 東海・南関東地域の地震活動（1990年11月～1991年4月）

### Seismic Activities in the Tokai and Southern Kanto Districts (November, 1990 – April, 1991)

気象庁地震予知情報課

Earthquake Prediction Information Division  
Japan Meteorological Agency

第1図は(a)～(f)は、1990年11月～1991年4月の東海・南関東地域における月別震央分布、第2図(a)・(b)は1990年11月～1991年1月と1991年2月～4月の3カ月間ごとの震央分布、第3図は1990年1月～12月の1カ年間に於ける震央分布である。震源の深さはいずれも90km以浅。

この期間、特に目立った地震活動としては、昨年12月26日からの千葉県東方沖（勝浦付近）の地震活動活発化（最大地震M5.2・12月31日）、本年4月25日の静岡県中部のM4.9、4月23日から活発化した神津島近海の地震活動（最大地震M4.0・4月23日）などであった。これらの活動については、詳細を本巻別項に掲載した。

東海地域は、上記M4.9の地震以外、特に目立った地震活動は発生していない。総じて静かな状態が続いたとみてよい。伊豆半島東方沖や伊豆大島近海も静穏であった。各自の活動状況は次のとおり。

11月：この月のMの最大は、八丈島東方沖のM4.8（6日02時29分）、深さは58kmで最大震度は2（八丈島）であった。東海地域は、清水市付近（B領域内\*）で19日にM3.1の地震（無感）が発生した程度で、このほか特に目をひく地震はなく静か。むしろ周辺部でM3クラスの地震発生が多くみられた。また、銚子付近でM4クラスの地震が3個発生したのが目をひく。

12月：Mの最大は勝浦付近のM5.2（31日08時05分）、深さ49kmで最大震度3（勝浦・館山）。東海地域は特別な変化はないが、前月に比べややにぎやかになった感じ。東海道はるか沖でM3クラスの地震が2個、愛知・岐阜県（南部）でM3クラスの地震が5個発生した。また、茨城・千葉両県およびその東方沖では、前記M5.2の勝浦付近の地震活動をはじめとして、このほかM4クラスの地震が4個発生するなど活動のレベルアップがみられた。

1月：Mの最大は八丈島東方沖のM4.7（25日06時36分）、深さ68kmで最大震度1（三宅島）。東海地域は特に目立った変化はないが、駿河湾南方沖で13日にM3.2の地震（無感）と浜名湖付近で31日にM3.2の地震（無感）があった。このほか、東海道はるか沖でM3クラスの地震が3個発生したのが目をひく。また、岐阜・長野県境と茨城・千葉両県の東方沖でM4クラスの地震が各1個、八丈島東方沖でも同クラスの地震が2個発生したのが目をひいた。

2月：Mの最大は茨城県沖のM4.5（28日07時32分）、この深さは42kmで最大震度3（水戸）。東海地域は前月に比べ大きな変化はない。しかし、B領域を取り囲むような形で、M3クラスの地震発生が目立つパターンとなっており、興味深い。ほか目をひいたものとしては、茨城県とその沖合などで発生したM4クラスの地震3個である。

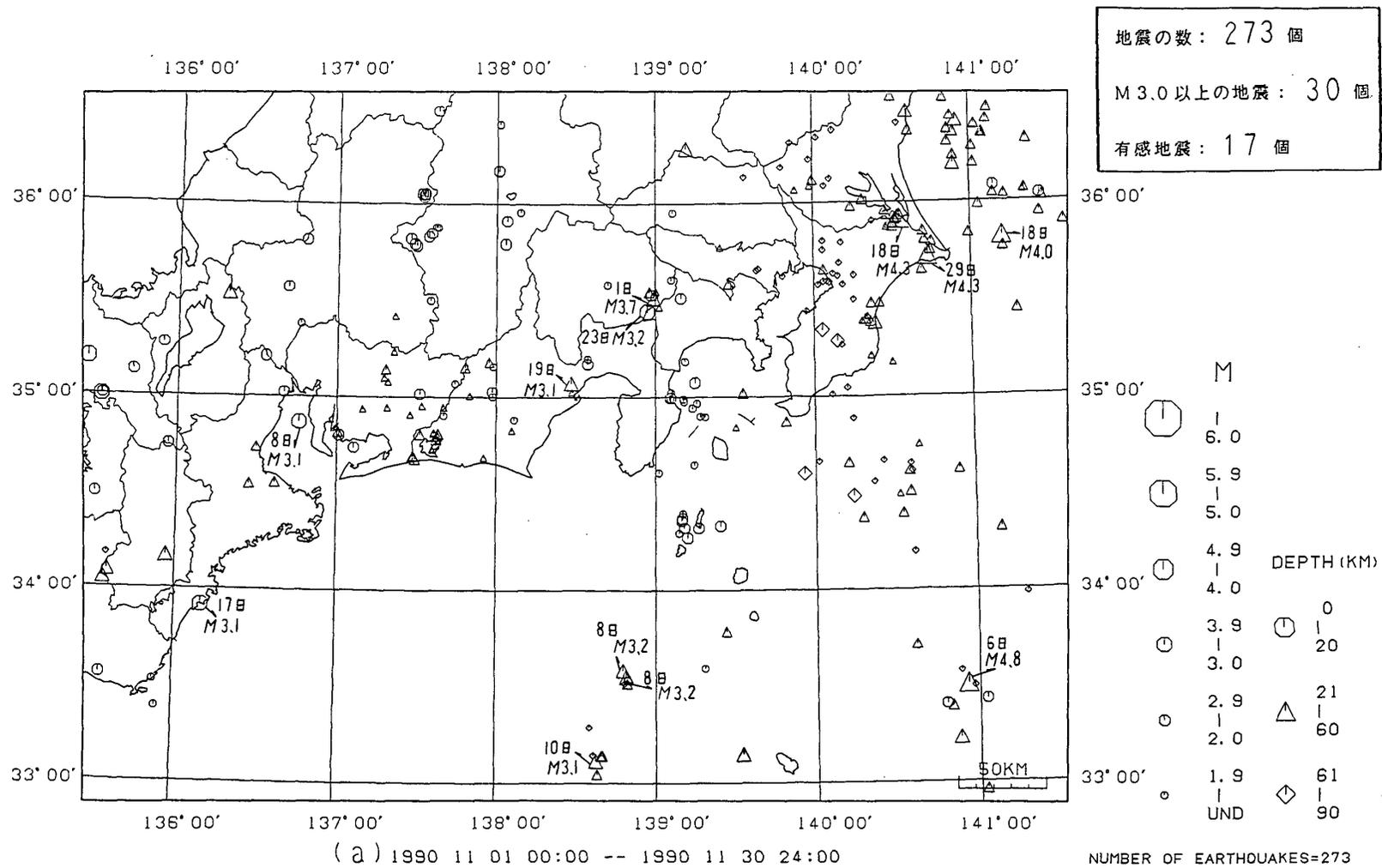
3月：Mの最大は千葉県中部のM4.6（15日09時01分）、深さは80kmで最大震度2（東京・横浜・網代）。東海地域は特に目立った活動はないが、静岡県北西部で14日にM3.1（無感）の地震。また、伊豆半島南端で20日にM3.0（最大震度2）と駿河湾南方沖で27日にM3.4（無感）の地震が発

生した。新島近海ではM3クラスの地震が4個発生するなどややにぎやか。このほか目をひいた活動としては、三重県北部の24日～27日の小活動\*\*である。千葉県中部は前記M4.6の地震を中心に、地震の発生数が多い。

4月：Mの最大は静岡県中部のM4.9（25日07時12分）、深さは32kmで最大震度4（網代）。東海地域はB領域内で前記M4.9の地震が発生し注目された。余震活動はそれほど活発ではなかった。また、神津島近海では23日～27日にかけて群発地震が発生した。月の前半に、この南西海域と大島南沖でM3クラスが、千葉県南端付近でM4クラスの地震が発生しているのが目をひく。このほか、岐阜県西部から長野県西部にかけては、M3クラスの地震3個が発生するなど、3月に比べにぎやか。また、茨城県南西部もM4クラスの地震を筆頭に地震の発生数が多く、前月より活動のレベルが上がっている。

注：\*のB領域については、本巻別項「東海地方における地震活動の変化」を参照。

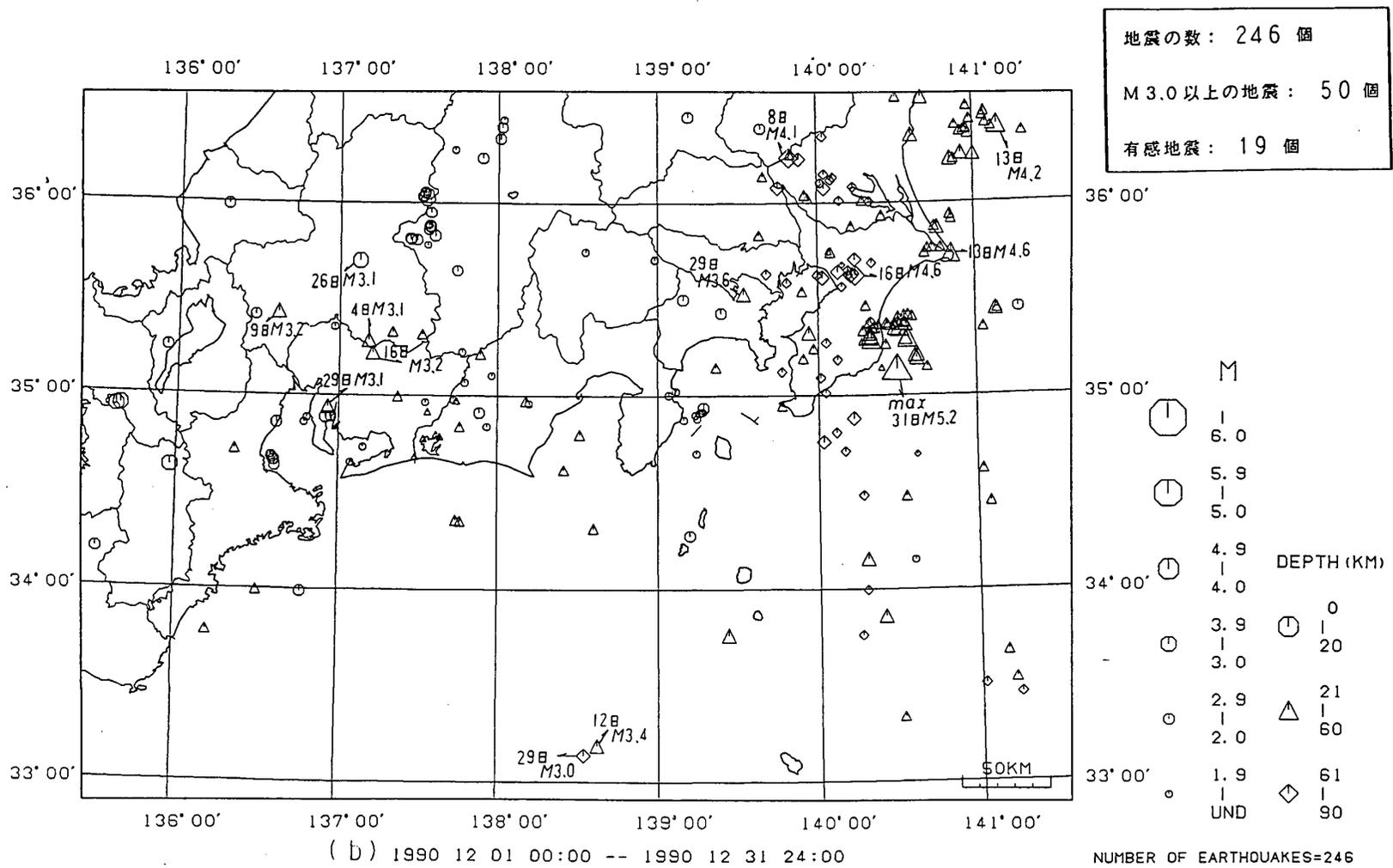
\*\*の三重県北部の地震活動では、有感となった地震はない。震源決定地震数は8個、最大地震は24日08時55分のM3.6（深さ9km）であった。



(気象庁のほか、東京大学・名古屋大学・防災科学技術研究所のデータ使用)

第1図(a)~(f) 東海・南関東地域に発生した地震の月別震央分布 (1990年11月~1991年4月)

Fig. 1 (a)-(f) Monthly distribution of epicenters in the Tokai and Southern Kanto Districts, November, 1990 - April, 1991.

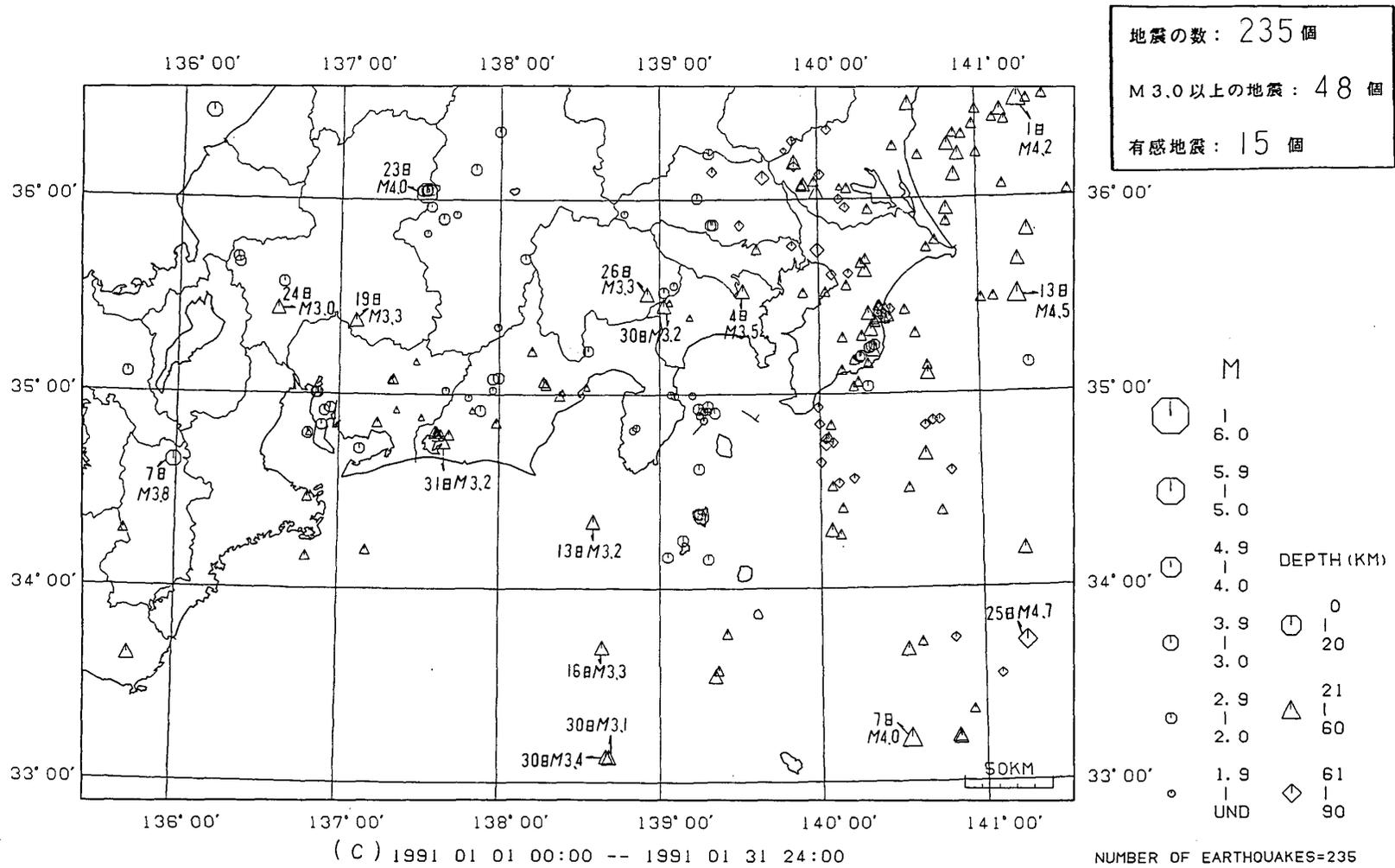


暫定

(気象庁のほか、東京大学・名古屋大学・防災科学技術研究所のデータ使用)

第1図 つづき

Fig. 1 (Continued)

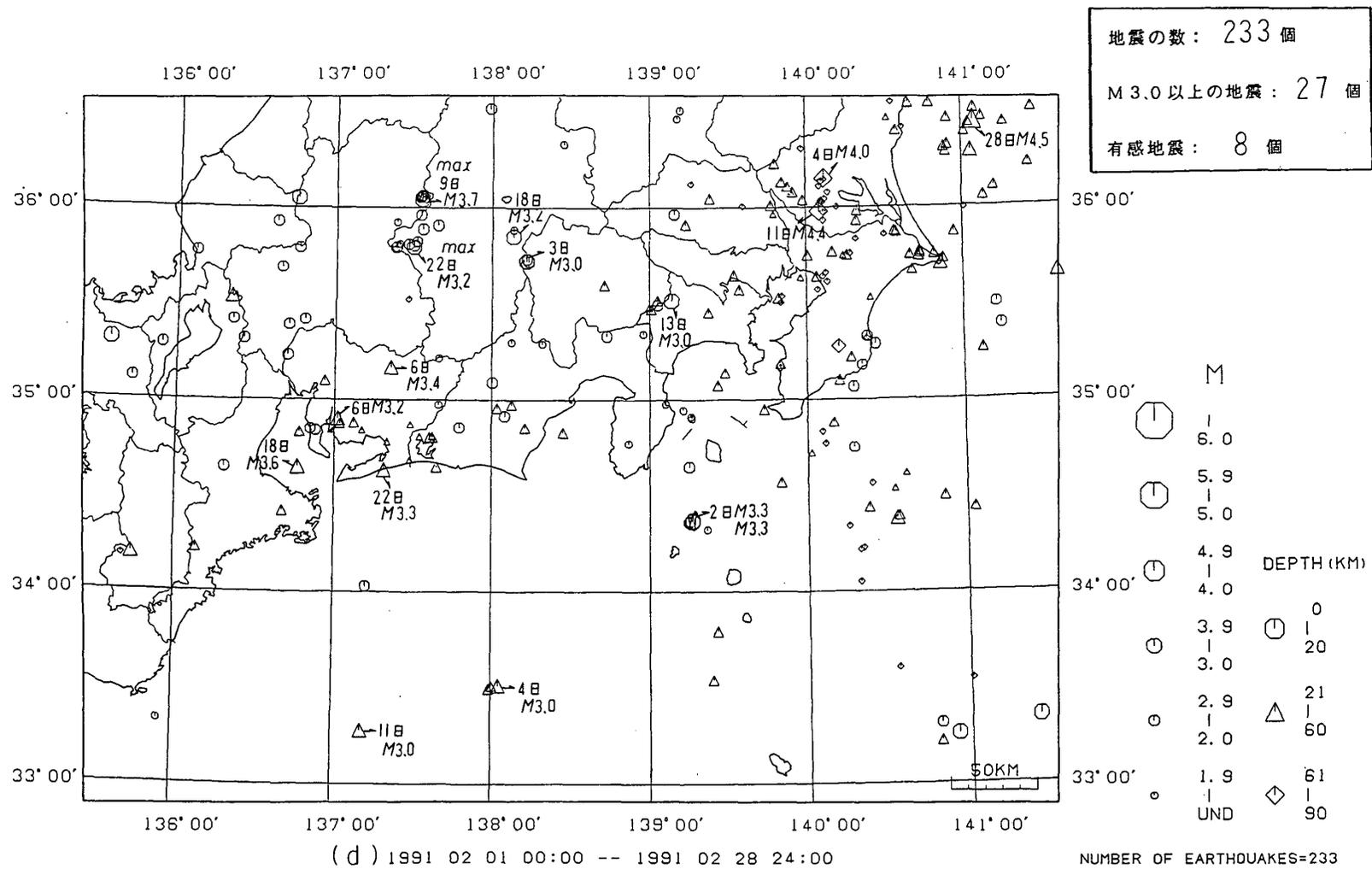


暫定

(気象庁のほか、東京大学・名古屋大学・防災科学技術研究所のデータ使用)

第1図 つづき

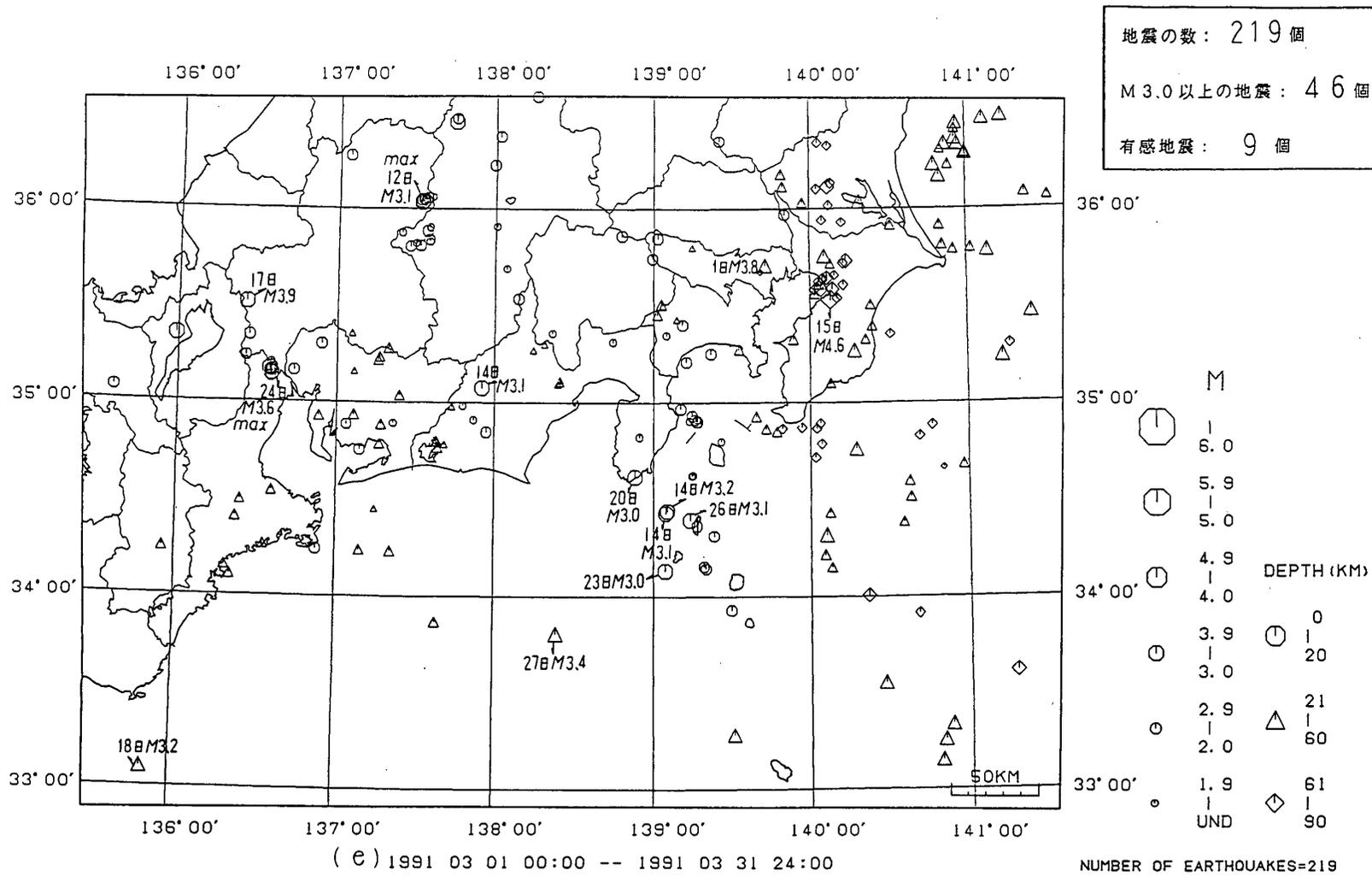
Fig. 1 (Continued)



(気象庁のほか、東京大学・名古屋大学・防災科学技術研究所のデータ使用)

第1図 つづき

Fig. 1 (Continued)

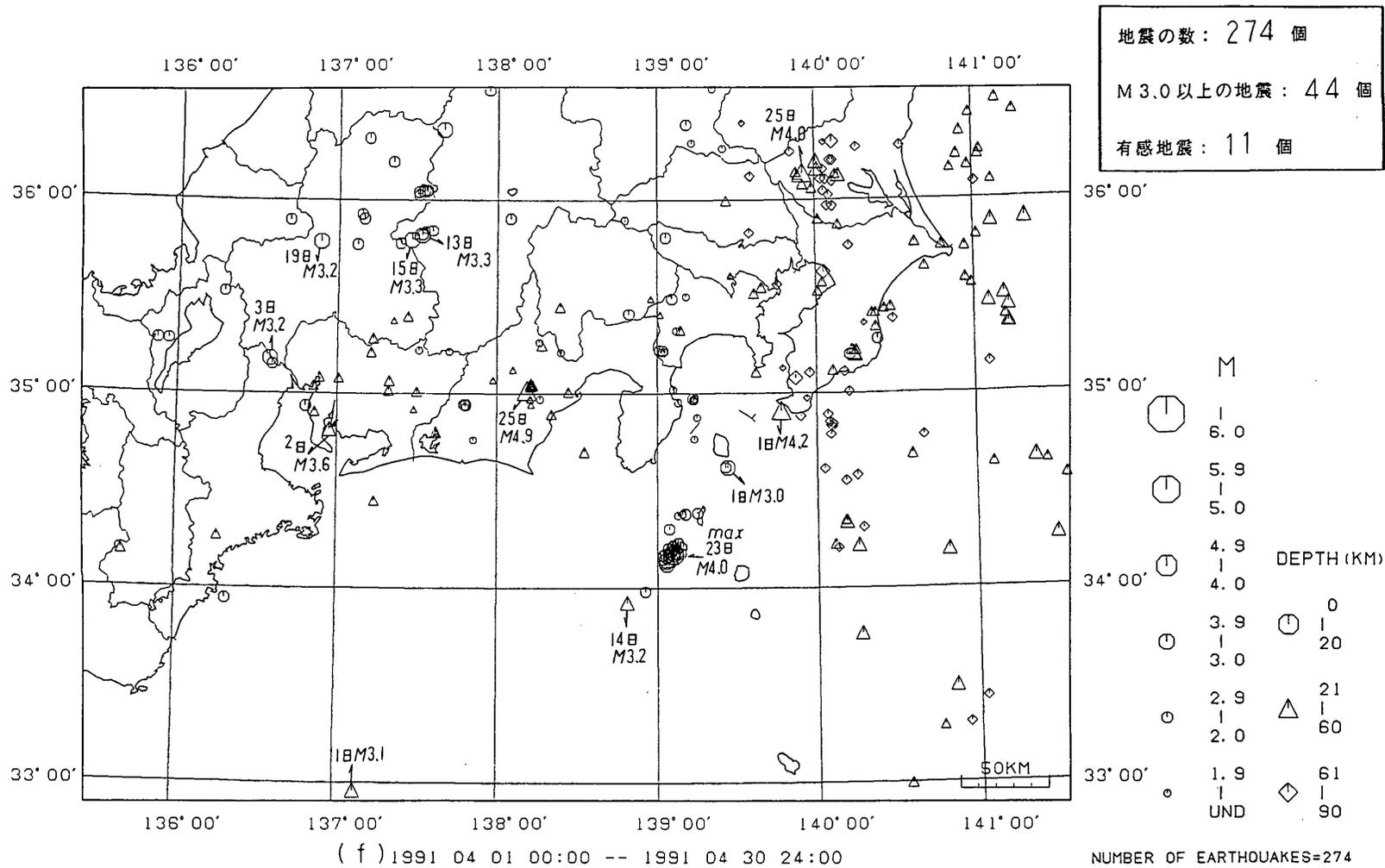


暫定

(気象庁のほか、東京大学・名古屋大学・防災科学技術研究所のデータ使用)

第1図 つづき

Fig. 1 (Continued)

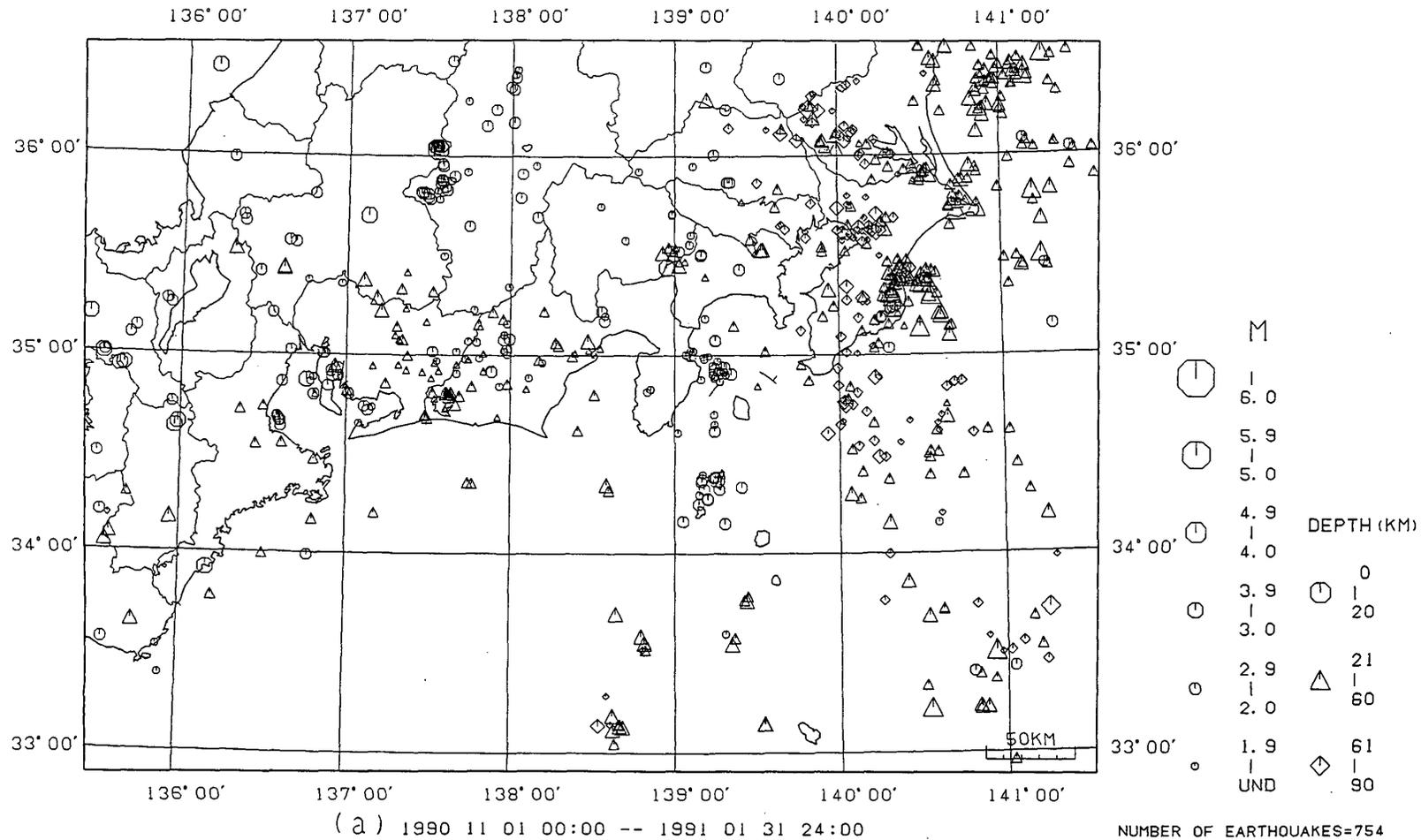


暫定

(気象庁のほか、東京大学・名古屋大学・防災科学技術研究所のデータ使用)

第1図 つづき

Fig. 1 (Continued)

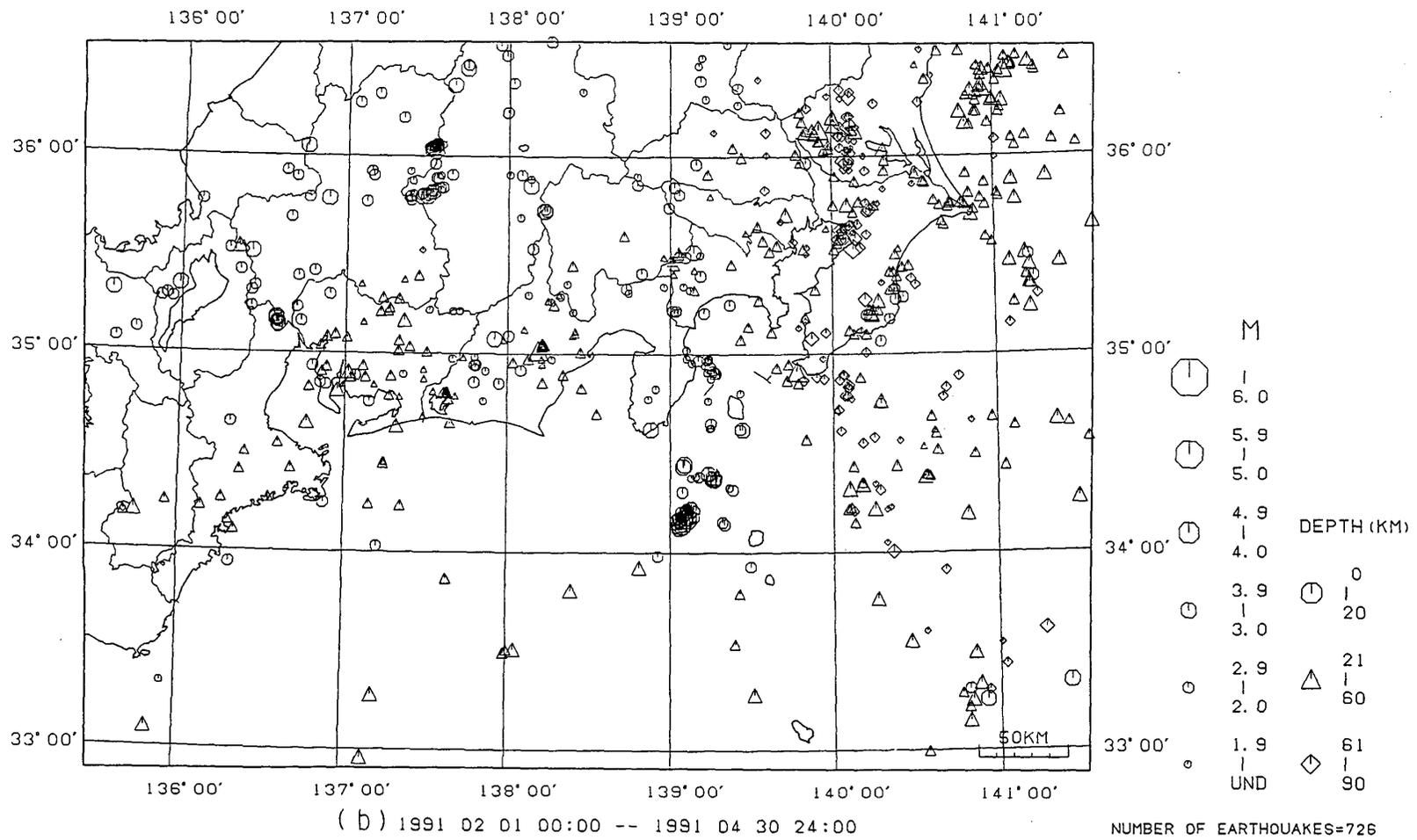


暫定 : '90年12月→

(気象庁のほか、東京大学・名古屋大学・防災科学技術研究所のデータ使用)

第2図(a)・(b) 1990年11月～1991年1月および1991年2月～4月の3カ月間の東海・南関東地域に発生した地震の震央分布

Fig. 2 (a), (b) Distribution of epicenters in the Tokai and Southern Kanto Districts in the periods of November, 1990 – January, 1991 and February – April, 1991 respectively.

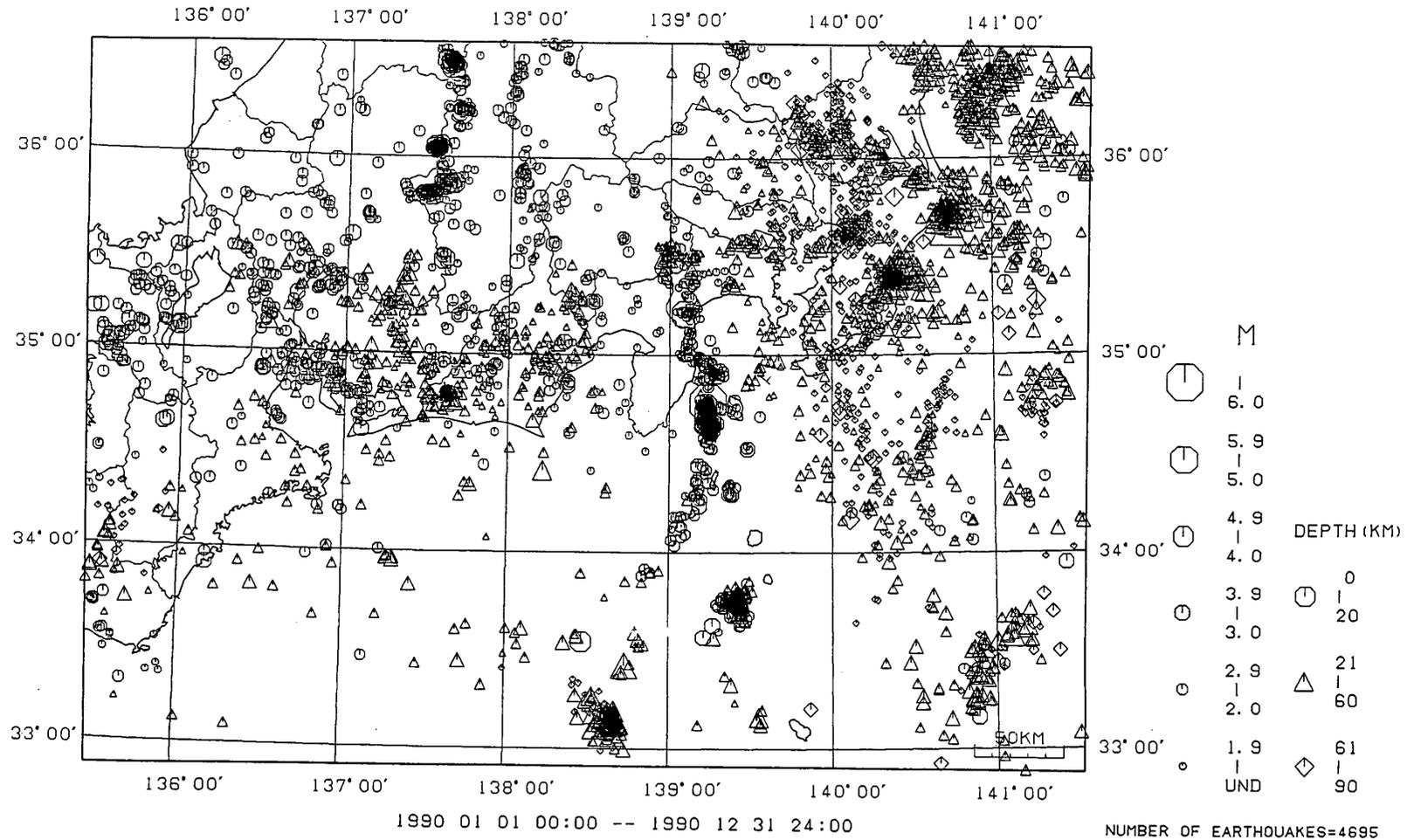


暫定： '91年3月—

(気象庁のほか、東京大学・名古屋大学・防災科学技術研究所のデータ使用)

第2図 つづき

Fig. 2 (Continued)



(気象庁のほか、東京大学・名古屋大学・防災科学技術研究所のデータ使用)

第3図 1990年1月～12月の東海・南関東地域に発生した地震の震央分布

Fig. 3 Distribution of epicenters in the Tokai and Southern Kanto Districts, January – December, 1990.